

# 野外活動におけるハチへの対応

## 【ハチ被害の特徴】

- ・ハチの被害は夏から秋にかけて多い。
- ・スズメバチやアシナガバチに刺されると全身症状を引き起こすことがある。

## 【ハチに刺されないために】

- ・下見をしてハチの巣がないかを確認める。
- ・黒っぽい服は避ける。
- ・ハチを見かけたら、静かにその場を立ち去る。



## ハチに刺された時の症状

局所症状

刺された箇所が全体的に赤みを帯び、腫れて痛む。

全身症状

ジンマシン、呼吸困難、発熱、血圧低下などの全身症状が起こる（スズメバチの場合が多い）。

危険

## ハチに刺されたときの対処法

- (1) すぐに**数十m離れ**、安静を保てる場所に移動する。
- (2) **上記の全身症状が起こっていないか、過去にハチに刺されて体調が悪くなったことはないかを確認する。**
- (3) **全身症状がある場合**
  - ・**至急119番（消防）に連絡**の上、状態を報告し、消防の指示に従う。
  - ・救急の到着が遅れる場合は、医療機関へ安静を保ちながら搬送する。※ 予め最寄りの医療機関を調べておく。
- (4) 全身症状がない場合
  - ・**傷口を流水でよく洗い**、清潔を保つ。※ 気分が悪くなったり、顔色が悪くなったり、何箇所も刺された場合、過去に刺されたことがある場合は、安静にしできるだけ早く医療機関を受診する。

## 救助者が守るべきこと（赤十字社ホームページより抜粋）

- 医薬品は使用しない。
- あくまでも医師または救急隊などに引き継ぐまでの手当てにとどめる。

## 緊急連絡先

(救急車等出動要請) 119番

(最寄りの消防本部) 【 \_\_\_\_\_ 消防本部】

(TEL \_\_\_\_\_)

(最寄りの医療機関) 【 \_\_\_\_\_】

(TEL \_\_\_\_\_)

作成：三重県林業研究所 協力：津市白山消防署

参考：赤十字社HP「救助者の守るべきこと」、林業・木材製造業労働災害防止協会「林業実践ブック（基本技術と安全管理）」